

# 新年度予算に係る要望

平成 30年 10月 12日

〔会派名 日本共産党仙台市議団 〕

## 1.全市にわたる要望事項

整理番号	要望事項	要望内容	担当局
1	教育環境整備	普通教室、職員室にエアコンを計画的に設置すること。来年夏に稼働することを目指して計画を急ぐこと。	教育局
2		35人以下学級を小学校にも拡充すること。	教育局
3		特別支援学級の定数を「8人以下」から「6人以下」にすること。	教育局
4		就学援助制度の修学旅行費の前渡し支給を行うこと。	教育局
5		就学援助制度の収入基準を大幅に引き上げること。	教育局
6		学校施設の老朽化対策を急ぐこと。	教育局
7		給付型奨学金制度を創設すること。	教育局
8	子育て支援	待機児童が解消されるまで、公立保育所廃止民営化計画を凍結すること。必要な保育所の老朽化対策を実施すること。	子供未来局
9		公立保育所の保育士の欠員が生じないように正規採用を増やすこと。	子供未来局
10		市独自で民間への支援を行って全年齢型保育所を増やすこと。	子供未来局

## 新年度予算に係る要望

整理番号	要望事項	要望内容	担当局
11	子育て支援	子ども医療費助成のワンコイン負担をなくし、所得制限を撤廃すること。対象を高校卒業まで拡大すること。	健康福祉局
12		入学援助金、修学旅行援助金、入学祝い金制度を復活させること。	健康福祉局
13	若者支援	奨学金返済支援制度を市内で働く多くの若者を対象にできるよう具体化すること。	経済局
14		若い世代、子育て世代に対する家賃補助成度を創設すること。	まちづくり政策局 都市整備局
15		学都仙台フリーパスは、一般会計から支援を行って民間事業者や、地域交通にも適用できるようにすること。	まちづくり政策局 都市整備局 教育局
16	医療・介護・障害者支援	高すぎる国保料を引き下げるため、一般会計からの繰入金、国からの交付金見込、前年度からの繰越金見込などの運用を見直すこと。	健康福祉局
17		地域包括支援センターは中学校区ごとに配置し、人員体制を強化すること。	健康福祉局
18		心身障害者医療費助成制度は、所得制限をなくし現物給付(窓口での一時立て替え負担解消)とすること。	健康福祉局
19		放課後等デイサービスの運営に対し、市独自の経済的支援を行うこと。	健康福祉局
20	被災者支援	被災者の医療費一部負担金・介護利用料免除制度を復活させること。	健康福祉局
21		復興公営住宅の収入超過世帯の家賃値上げはやめ、市独自に減免を行うこと。	健康福祉局



